

令和7年度 学習状況および学力向上に向けた取組

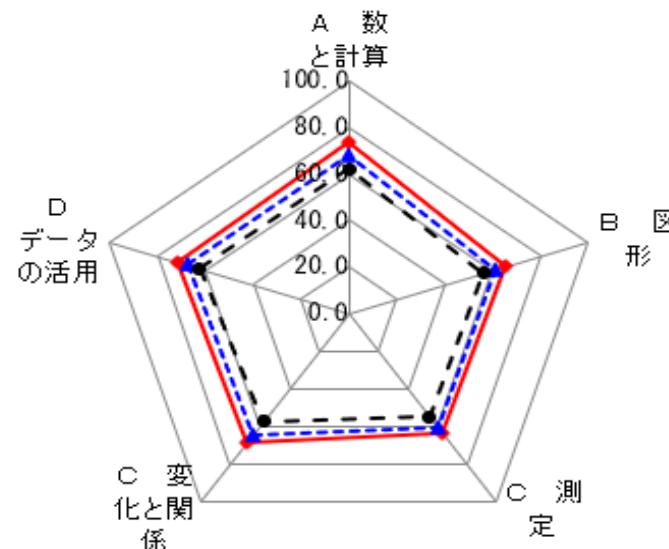
江戸川区立本一色小学校

『全国学力・学習状況調査』

- 調査日時 令和7年4月18日(木)
- 調査の対象学年及び対象児童数 第6学年 67名
- 調査内容
 - 【国語】知識・技能・活用等に関する問題
 - 【算数】知識・技能・活用等に関する問題
 - 【理科】知識・技能・活用等に関する問題
 - 生活習慣や学習環境等に関する調査

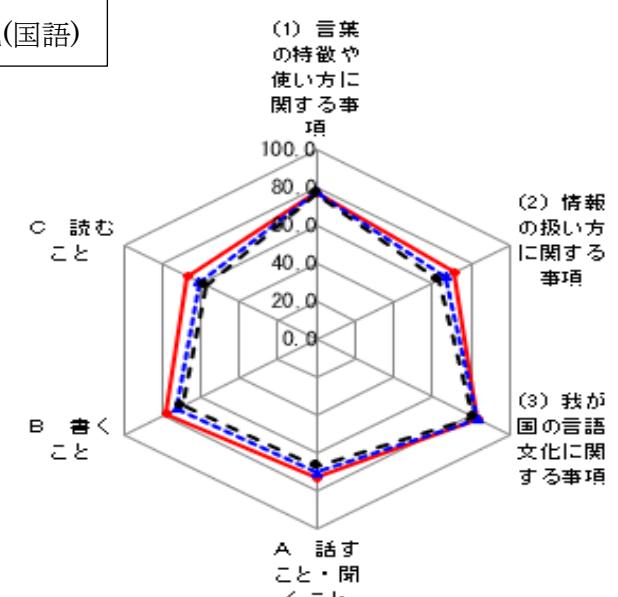
学習指導要領の領域の平均正答率の状況(算数)

● 貴校
● 東京都(公立)
● 全国(公立)



学習指導要領の領域の平均正答率の状況(理科)

● 貴校
● 東京都(公立)
● 全国(公立)



成果と課題

○成果 △課題

国語

- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3つの領域に関しては、東京都や全国平均よりも平均正答率が上回っている。
- △ 「言葉の特徴や使い方に関する事項」「我が国の言語文化に関する事項」は、東京都の平均正答率を下回っており、言語に関する課題が見られる。

算数

- 算数に関してはどの項目も全国と東京都とどちらと比べても正答率が上回っている。
- △ 記述の問題の無回答率が高かった。表現する力や読解力を上げるように指導をしていく。

理科

- 理科に関してはどの項目も全国と東京都とどちらと比べても正答率が上回っている。
- △ 記述の問題の無回答率が高い。表現する力や読解力を上げるように指導をしていく。

生活習慣や学習環境

- 東京都、全国平均を上回る主な項目
 - ・算数への関心について。(約28%高い)
 - ・毎日の睡眠について。(約4.5%高い)
- △ 東京都、全国平均を下回る主な項目
 - ・お互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。(約18%低い)
 - ・自分と違う意見について考えるのは楽しい。(約10%低い)

今後の学力向上に向けて

●国語では、どの項目の正答率も全国の平均を上回っていた。本校の結果の中で見ると、「言葉の特徴や使い方に関する事項」が低かった。言語に関する授業や、漢字書き取りなど正確に行えるように指導していく。引き続き、国語の力を身に付けられるようにしていく。

●算数では、どの項目の正答率も全国、東京都と共に平均を上回っており、基礎的な計算力および応用力の定着が見られた。一方で、領域別にみると「測定」に関する問題の正答率が比較的低く、以下の点が課題として挙げられる。実感を伴う活動の充実や「公式の意味」を可視化、図や文章に含まれる数値・条件に線を引くなど、情報整理の手順などの指導を行い、定着を今後も図っていく。引き続き、算数の力を身に付けられるようにしていく。

●理科では、「エネルギー」を柱とする領域の正答率が低かった。身の回りの金属に電気は通るのか、磁石はくっつくのかなど、それぞれの性質についての理解が不十分であるので、4年生までの学習を振り返りながら学習を進めることが必要である。また、実験の方法や結果をもとにした考察を自分で考えられるようにしていくことも大切である。

●生活習慣や学習環境等に関しては、自分と違う意見について考えることにより、自分の考えが深まるという経験を積む必要がある。そのために、授業中に様々な考えに気付けるよう、相手の話を聞く姿勢の育成や、考えの良さを認めらるるようにできる場の工夫を行っていく。また、計画的に学習できるようになることは中学校へ進学する上でも重要である。自分に必要な学習をしたり、見通しをもって自分の力で学習を進めたりできるようにしていく。